

## マルキュウカップ第39回山口県小学生バレーボール選手権大会県決勝大会

### 競技・審判上の注意

- 1 本大会は、2024年度(公財)日本バレーボール協会の6人制規則小学生バレーボール競技規則による。但し、選手は14名以内とする。
  - 2 サービスゾーンは、エンドラインから6.5m以内の範囲とする。
  - 3 参加チームは、エントリー変更の有無にかかわらず、受付時に「エントリー変更届」を提出し、変更がある場合は、JVA - MRS の「チーム加入選手一覧」を添付すること。
  - 4 監督・コーチ・マネージャーは、マークを必ず左胸に着け、統一した服装（上は襟付きのもの、下はズボン形式で短パン、キュロットは不可、ライン・ロゴ等も統一）でベンチ入りすること。
  - 5 ベンチスタッフは、JVA - MRS 登録並びに宣誓書に署名している者に限る。
  - 6 監督・コーチ・マネージャーのうち一人は、(公財)日本バレーボール協会/日本小学生バレーボール連盟が共催する指導者研修会の受講証明書所持しているか、(公財)日本スポーツ協会認定のコーチ1~4いずれかの資格を有し、証明書は試合中には胸に下げていなければならない。なお、受講証明書は本人が受付時提示のこと。また、監督は当該年度の山口県小学生バレーボール連盟監督義務研修を受講していなければならない（確約書は無効）。
  - 7 次の試合のチームは、前試合の両チームがコートを退き、コートチェック終了後にコートに入ること。
  - 8 公式練習において、エントリー以外の者の参加は認めない。また、競技フロアに入ることができるのは、原則エントリーされたベンチスタッフとする。
  - 9 公式練習前の練習は、ネットを利用しての練習は禁止する。また、同一フロアのいずれかのコートが試合中であればパスのみとする。
  - 10 テクニカルタイムアウトは、リードするチームが1・2セットは11点、3セットは8点の時に健康管理のために適用する。場所はベンチエンドとし、給水を妨げてはならない。
  - 11 試合中、ボール籠は防球フェンスの外または壁際に置くこと。ドリンクなどの荷物はアップゾーンに置くこと。なお、1日目について各会場本部の指示に従うこと。
  - 12 控えの選手は、座って観戦し、アップをする場合はアップゾーンで行うこと。
  - 13 審判は JVA 公認審判員で実施し、準決勝、決勝以外は原則として相互審判とする。第1試合の審判（1st レフェリー・2nd レフェリー、スコアラー、ラインジャッジ）は、組合せ表の○印チームが行う。以後、前試合の敗者チームが行うことを原則とする。  
なお、細部については、審判委員長の計画による。
  - 14 審判員は、審判服を着用すること。なお、審判服を保有しない場合は、上が白の襟付きシャツ、下は紺のズボンも可とする。
  - 15 各チームとも競技の円滑な進行に協力すること。
  - 16 各チームの横断幕の掲示は、自チームの試合時のみとする。なお、1日目について各会場本部の指示に従うこと。
  - 17 体育館での上下足の区別を必ず行うこと。
  - 18 ゴミは、各チームで必ず持ち帰ること。
  - 19 体育館は公共の施設である。マナーを守り大切に使用すること。電源の使用は硬く禁じる。
- ユニフォームについて
- 2024年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則小学生バレーボール競技規則の付則2「袖の無いユニフォームは安全性を考慮し禁止とする」により、ノースリーブのユニフォームは着用できない。また、日小連の通達に準じたものであること。
- 試合球について
- 男子の部：ミカサ、女子の部：モルテン、混合の部：ミカサ（ミカサはV-400W-Lを使用する）